



鬼才アラン・ギルバート、名門オーケストラと奏でる「ドイツ魂」



©Chris Lee



©Mat Hennek

第22回 京都の秋 音楽祭

(旧ハンブルク北ドイツ放送交響楽団)

NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団

指揮 アラン・ギルバート / ピアノ エレーヌ・グリモー

2018年11月1日(木) 19:00開演(18:15開場) 京都コンサートホール 大ホール

Thursday, 1 November 2018 at 7 p.m. Kyoto Concert Hall Main Hall

ワーグナー：歌劇《ローエングリン》第1幕への前奏曲

Richard Wagner: Prelude to Act I from *Lohengrin*

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第4番 ト長調 op.58

Ludwig van Beethoven: Piano Concerto No. 4 in G major op.58

ブラームス：交響曲第4番 ホ短調 op.98

Johannes Brahms: Symphony No. 4 in E minor op.98

S=16,000円 A=14,000円 B=12,000円 C=9,000円 D=5,000円

[*会員] S=15,000円 A=13,000円 B=11,000円 C=8,000円 D=4,000円

※学生割引/シニア割引(70歳以上)/障がいのある方割引=各席1,000円割引

(京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱。窓口でご本人様が証明書等をご提示ください)

◎*会員先行=5月12日(土) 10:00— ◎一般発売=5月20日(日) 10:00—

*会員=京都コンサートホール・ロームシアター京都Club及び京響友の会の会員が対象です。

主催=京都市/京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

後援=大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館/ゲーテ・インスティテュート・ウィラ鴨川

助成=文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会

●チケットのお問い合わせ・お申し込み

京都コンサートホール Tel.075-711-3231

10:00-17:00 / 第1・第3月曜日休 ※休日の場合はその翌平日

京都市左京区下鴨半木町1-26 地下鉄「北山駅」①③番出口南へ徒歩5分

オンラインチケット購入

<https://www.kyotoconcerthall.org>

京都コンサートホール 検索

●プレイガイド

ロームシアター京都 Tel.075-746-3201 (10:00-19:00 / 年中無休 ※臨時休館日を除く)

チケットぴあ Tel.0570-02-9999 (Pコード=102-809)

ローソンチケット Tel.0570-000-407 (Lコード=54511)

※都合により内容等変更になる場合がございます。

なお、それによる払い戻しはいたしません。あらかじめご了承ください。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

(託児室あり/1歳以上/定員有/有料1,000円/10月25日(木)までに要予約075-711-2980)

※チケットの転売は固くお断りいたします。万が一そのような行為が頻繁に見受けられた場合、転売席のチケットをお持ちのお客様にご本人様確認を行い、ご入場をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。



NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団

指揮 アラン・ギルバート / ピアノ エレーヌ・グリモー



©NDR Michael Zapf

1945年に設立されたNDRエルプフィルハーモニー管弦楽団は、大指揮者たちが築き上げた伝統を守り続ける名門オーケストラのひとつです。高水準の演奏技術と卓越した音楽性により、確固たる世界的地位を築いてきました。これまで長らく「ハンブルク北ドイツ放送交響楽団」として活動してきましたが、2017年に拠点を新設エルプフィルハーモニーホールへ移行したことから、名称を「NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団」に変更。今日に至るまで、精力的な活動を展開しています。15年ぶりとなる今回の京都公演では、次期NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団首席指揮者のアラン・ギルバートと人気ピアニストのエレーヌ・グリモーが登場し、オール・ジャーマン・プログラムを披露します。

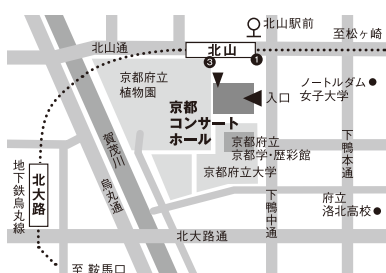
新たな一歩を踏み出したドイツの名門オーケストラ、NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団。この強豪オーケストラに鬼才アラン・ギルバートがどのように斬り込んでいくか、この貴重なチャンスを逃す手はありません。

NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団 (旧ハンブルク北ドイツ放送交響楽団)

NDR Elbphilharmonie Orchester (former Sinfonieorchester des Norddeutschen Rundfunks)

1945年創立。2017年1月、ハンブルクに本拠となる新ホールのエルプフィルハーモニーが建ったことに合わせ、ハンブルク北ドイツ放送交響楽団はNDRエルプフィルハーモニー管弦楽団と改称した。この楽団は初代首席指揮者H.S=イッセルシュテットによって早くも現在の音楽の性格が決定づけられ、当時はフルトヴェングラー、E.クライバー、クレンペラー、クナッパertzブッシュ、ペーム、フリッチャイらといった錚々たる大家が指揮台に立った。以後、首席指揮者はアツモン、テンシュテット、ヴァント、ガーディナー、ブロンシュテット、エッセンバッハ、ドホナーニが歴任し、現在は実験的な楽曲解釈と型破りなプログラミングで知られる鬼才ヘンゲルブロック。フレキシビリティの増したオーケストラとなった。特に1982年に首席指揮者となり(87年からは永久名誉音楽監督)、2002年に逝去するまで同団を率いたヴァントとの緊密な活動は特筆される。2019/20年シーズンからはアラン・ギルバートがこの任に就く。

古典派やロマン派のレパートリーはもちろん、このオーケストラは常に現代音楽も重視しており、マデルナやブレーズ、ペンデレツキたちの指揮者・作曲家が以前からハンブルクで重要な作品の世界初演を行ってきた。



京都コンサートホール KYOTO CONCERT HALL

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-26

Tel.075-711-3231

<https://www.kyotoconcerthall.org>

※地下鉄丸線北山駅下車①番出口南へ徒歩5分

京都コンサートホール Kyoto Concert Hall

京都コンサートホール @KCH_Kyoto

公式ブログ <http://blog.kyotoconcerthall.org>

15年ぶりの京都公演



アラン・ギルバート 指揮

Alan Gilbert, Conductor

2009年より2017年まで8シーズンにわたりニューヨーク・フィルハーモニック音楽監督を務め、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンサート・ボウ管などにも定期的に客演。メトロポリタン歌劇場や初代音楽監督を務めているサンタフェ・オペラなどにてオペラ公演を指揮。ニューヨーク・フィルでは、リゲティ「ラ・グラン・マカブル」、ヤナーチェク「利口な女狐の物語」等のステージ・プロダクションを指揮、絶賛を博し、現代音楽作品のための2つのシリーズ「CONTACT!」と「NY PHIL BIENNIAL」の立ち上げなど、その芸術性を広げる活動が高く評価された。また、ジュリアード音楽院において指揮科とオーケストラ科のディレクターを務める。アメリカ芸術科学アカデミー(14年)、外交政策協会(15年)をそれぞれ受賞。テレビ放映された「スウィニー・トッド」により、15年のエミー賞優秀音楽監督賞にノミネートされた。ロイヤル・ストックホルム・フィル桂冠指揮者。18年4月より東京都交響楽団の首席客演指揮者、19年9月よりNDRエルプフィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者にそれぞれ就任する。

70年かけて熟成された「ドイツの音」を聴く一夜



エレーヌ・グリモー ピアノ

Hélène Grimaud, Piano

フランスのエクサンプロヴァンス生まれ。13歳の時、パリ音楽院に全員一致の推薦で入学を許可され、85年ルヴィエのクラスで一等賞を獲得、さらにフライシャーのもとでも研鑽を積んだ。1987年は、ラ・ロック・ダンテロン・ピアノ・フェスティバルへの出演、東京での初リサイタル、パレンボイムの招きを受けてパリ管との共演など、グリモーのキャリアにとって一大転機となった。その後、ドホナーニ、サロネン、チョン・ミュンフン、アシュケナージ、エッセンバッハ、マズア、ブロンシュテット、ヤルヴィ親子、ジンマンらのマエストロのもとで世界各地のメジャー・オーケストラ——ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、コンセルト・ボウ管、ボストン響、ニューヨーク・フィル、モントリオール響、ロンドン響、ヨーロッパ室内管、バイエルン放送響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、N響、サントペテルブルク・フィル、フランス国立管、パリ管などと定期的に共演を重ねている。主要都市でのリサイタルや国際音楽祭への出演も多い。録音も多く、現在はドイツ・グラモフォンへ録音を続けている。2000年にフランス文化省から芸術文化勲章オフィシエに叙せられた。